

呉市議会

誠志会だより

〈No.7〉

発行

誠志会

呉市中央4丁目1番6号
TEL:0823-25-3264

発行責任者

土井 正純 中田 光政
小田晃士朗 福永 高美
岡崎源太郎 橋口 晶
定森健次朗 森本 茂樹

ごあいさつ

市民の皆様、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

平成31年4月の統一地方選挙によって、市民の信託を受けた8名の議員で、会派「誠志会」を結成いたしましたので、ここに御報告申し上げます。

誠志会は呉市議会の最大会派として、その重責を担うべく「市民第一」をモットーに活動してまいり所存でございます。

私たちは市民の代弁者として、市民一人ひとりが幸せで快適な生活を送ることができるよう、皆様の御意見を拝聴するために、この「誠志会だより」を発行しております。発行に当たっては、議会での我々の発言を中心に、会派の活動方針や活動報告をお伝えすることで、皆様から新たな意見をいただく契機となり、さらなる「市民第一」の議会活動に進化してまいります。

さて、今回の任期は令和元年5月1日から、令和の時代とともにスタートいたしました。

私たちは呉市を希望の持てる活気ある地方都市として再生する責務を担うとともに、住んでみたい、訪れてみたい呉市にしなければなりません。

そこで誠志会としては、新原市長が掲げる呉復活新計画「くれワンダーランド構想」を具現化すべく、二元代表制の一翼を担う議会の一員として、是々非々で未来志向の議論を行うことで、呉市の発展、福祉の向上そして教育の充実につなげてまいりたいと考えております。

今後とも、ご意見及びご助言を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

誠志会一同

活動方針

1. 人口減少に歯止めをかけるまちづくりの推進

スピード感を持って「雇用の創生→若者の定住→子育て支援の充実→税収の確保→市民サービスの向上」の好循環型社会を目指します。

2. 呉駅周辺再整備の推進

呉駅前だけでなく、呉駅周辺の再整備推進に向けて取り組んでおり、令和2年の早い段階に具体案を提出するよう当局に求めています。

3. 海路を含めた交通体系再構築の推進

コンパクトシティプラスネットワークの推進に必要なのは、公共交通の再構築であり、生活維持のためにも交通手段の確保は重要課題であると考えています。

4. 時代にあった教育環境の推進

市民（子どもたち、PTA、地域の人、先生）の声を教育施策に反映するとともに、呉市で学びたい、学ばせたい学校づくりを推進します。

5. 安芸灘大橋の早期無料化を目指す

通行料の家計への負担は大きく、一日も早い無料化を目指します。管理者である広島県には早期無料化を要望していますが、未だ実現には至っており、呉市独自の負担軽減策を求めています。

6. 女性や若者が活躍できる呉を創る

女性や若者が活躍できるまちは賑わいをもたらします。女性や若者が呉市の意見決定において参画でき、働く場においても活躍できる呉を目指します。

7. 「道の駅」整備の推進

道の駅候補地の1つとして、呉ポートピアパークを再整備することで、天応地区の復興にも寄与すると考え提案しています。

8. 「スポーツ大国・呉」の復活を目指す

40年余り呉市からオリンピック、パラリンピックの選手が選出されておらず、全国レベルの選手育成方針の再構築を求めています。

9. 議員定数の削減〈32名→28名〉

「議員自らが身を切る改革」をスローガンに、市民から信頼される議会に、そして将来的には人口1万人にひとりの議員を目指します。

10. 職員体制の再構築を推進

合併後、職員の削減ありきであったため、年齢構成の偏りも表面化しており、採用方法も含めた職員体制の再構築を提言しています。

令和元年 9月議会 代表質問から



中田光政議員

焼山地区に関する道路網の整備状況を聞く

【呉環状線(天応〜焼山区間)の工事状況について】
中田議員 昨年7月の西日本豪雨災害で主要地方道である呉環状線(天応〜焼山区間)は大きな被害を受けましたが、現在は仮復旧により通行可能となっております。
本復旧に当たり、一部では改良復旧工事を行い、以前より良くなると聞いているが、具体的にはどのように改良され、いつ頃完成するのかをお聞きします。

都市部長 本路線の深山の滝入口付近の約800mほどの区間は、線形が悪く、幅員が狭いうえ、センターラインもないことから、非常に運転しづらく危険でありました。
そこで、今回単なる災害復旧ではなく、2車線に拡幅改良工事を行うものです。現在、県が詳細設計を進めているところであり、工事は令和2年度中を予定していると聞いております。

【呉平谷線の工事状況について】
中田議員 呉平谷線は中央地区から焼山地区を結ぶ大動脈であります。
しかし、慢性的な渋滞に悩まされているほか急勾配でカーブが多く事故が多発している現状に、災害にも弱いことから、焼山地区の住民は常に不安を感じています。

先般、市長が平谷線の工事について、県から説明を受けたことが市のホームページにも掲載されておりますが、どのような事業内容で、いつ頃の事業完了を見込んでいるのかお聞きします。



呉平谷線 上二河工区

国土交通省や広島県と連携し、道路の強靱化を推進中です。

都市部長 二河川に張り出す形で工事用橋脚を建設した後、橋脚の建設と上部工の架設を行い、最後にトンネル工事を行って此原工区につなげていきます。
完成時期は10年超が見込まれていますが、可能な限り早期に完成するように取り組んでいくと県から聞いており、市としても早期整備を強く働きかけていきます。

令和元年 9月議会 個人質問から



定森健次朗議員

中央地区商店街のまちづくりについて

定森議員 市が、今まで推進してきた空き店舗・空きビルに関する施策について、その取り組み状況をお聞かせください。

産業部長 本市では、空き店舗の有効活用のため、新規出店者から魅力的な事業案を公募する「来てくれ店舗公募事業」を平成17年度から実施しています。事業の成果としては、

新規出店等が89店舗、300名以上の雇用を創出しています。

定森議員 本市では、空き店舗等を再生するリノベーションまちづくりという施策の中で、今年度はリノベーションスクール等の事業が実施されていますが、こういった効果が期待できますか。

産業部長 リノベーションスクール対象物件の再生を核とした成功事例をまちに示し、不動産オーナー、事業オーナー、そしてこれらをつなぐ役割を担うプレーヤーの発掘と育成をしていきたいと考えています。

定森議員 市の予算計画では、今のところ本年度予算のみ確定しております。今まで実施した市の施策を基盤として、単発の事業に終わらない取り組みを要望します。

【インバウンドを見据えた観光振興について】
定森議員 市のインバウンド施策に対する取り組み状況について確認します。

産業部長 本市では、台湾を主なターゲットとしてインバウンド事業に取り組んできたところです。これまでの取組ですが、情報発信・誘致活動・受入態勢の整備、これらの3つの取組を広島県とも連携しながら進めてまいりました。

定森議員 本市のみならず、県全体として観光行政を考えていく際、民間との連携が必要不可欠ではないでしょうか。広域にわたった観光連携について、民間を入れるという考え方を、観光マスタープラン策定時には、検討いただきたいと思えます。



リノベーションスクールの様子

令和元年 9月議会 予算特別委員会から



土井正純議員

生活交通網再編における今後の交通体系の考え方を問う

土井議員 令和3年3月の地域公共交通網形成計画策定時まで、もっと思い切った予算を組むなどのスピーディーさが当局に必要と思うが意気込みを聞く。

都市部長 生活バス全体の見直しを一度に包括的にやるのが理想かも知れませんが、我々職員の能力的問題もあります。まずは、下蒲刈地区、安浦地区をモデル的に実施して速やかに全市的に広げていきます。

今後においても、目先だけを見据えるのではなく、将来にわたって維持できる新しい交通体系のあり方を考えていきます。

新原市長 まさに人が少なくお年寄りの多い中で、どう生活を維持するかと言うことは、これからの呉市にとって、日本全体にとってもきわめて大事なことだと考えております。実は呉市は日本全体のモデルになることを3つやっております。

1つが、高齢者の医療重症化予防です。これについては菅官房長官にもいろんなところで引用していただいております。

2つ目は、バスタプロジェクトです。これは国土交通省の新年度概算要求に入っていますが、バスタプロジェクトを大都市だけではなく、呉のような地方都市でやる。これもまた、政府を含む関係者として、日本中で注目されているプロジェクトです。

そして3つ目が、生活交通をどのように維持し人が少なくお年寄りの多い地域で生活を維持することができるかの挑戦であります。

令和元年
9月議会
決算特別委員会から



小田晃士朗議員

中学校の部活動における
外部人材の活用

小田委員 中学校の部活動が盛り上がることは嬉しいことである。一方で、教職員の部活動に対する負担も考えられる。部活動に対する教職員の負担はどれぐらいか。

学校安全課長 中学校教員の業務のうちの顧問の負担、部活動にかける時間は、授業準備と大体同程度、週当たり9.3時間であり、高い割合を占めている。

小田委員 その負担に対し、平成30年度、どのような対応をしたか。

学校安全課長 昨年、学校における働き方改革取組方針、それから運動部活動の方針を作成し、部活動休養日、それから活動時間の徹底を図ること、それから外部人材を活用することを推進するなどを示して、負担軽減に努めている。



中学校サッカー一部の合同練習会の様子

小田委員 外部指導者について、今どれぐらいの方が指導されているのか。

学校安全課長 平成30年度で、外部指導者27人が学校で指導しており、地域の指導者、競技の専門とする指導者、あるいは保護者などを外部指導者として招いて、部活動の顧問と連携しながら技術的な指導を行っている。

小田委員 今後、外部指導者の活用について計画などあるか。

学校安全課長 部活動の指導体制の充実に向け、外部人材の活用が有効であるというところは十分に認識している。今後、教職員の負担軽減も含め、子供たちや学校のために効果的な方法、それから制度化についても研究しながら、外部人材の活用を努めてまいりたい。

令和元年
9月議会
決算特別委員会から



福永高美議員

選挙の投票率向上への
取り組みを聞く

福永委員 投票率50%を切る選挙が多くなっているが、どのような取り組みを行っているのか。

選挙管理委員会 小中高等学校での出前講座や模擬投票を行うなど、未来の有権者たちが選挙に少しでも興味を持っていただきたく活動をしています。

福永委員 スーパー、駅、大学などに投票所を開設してはどうかという案もあったがどう考えているのか。

選挙管理委員会 駅や商業施設への期日前投票所の設置については、店舗等で安定的に借

りられるペースの確保が必要となることや、二重投票防止のために、投票所のパソコンと市役所がオンラインで結ばれている必要がある。これらの点から、すぐに設置するのは難しいですが研究してまいります。



高校生向け議会報告会の様子

福永委員 投票所から遠いところに住んでいる方のために、移動投票所で回ることや、他の方法で投票できる方策がないか、未来に向かって投票へ行きたくなるような環境づくりに努めていただきたい。

【火災時のごみ処分について】

福永委員 火災で発生したごみは、災害のためどんなごみでも処分してくれると思ったが、プラスチックなどが混入しているため断られたという話を聞いた。火災ごみの処分基準を聞く。

環境施設課長 火災に遭われた方は罹災証明を持ってクリーンセンターに手続きすれば10キロ130円のごみ搬入手数を減免することがあります。ただし、ごみ出しカレンダーに書いてあるごみしか受け入れはできません。

福永委員 一般的に罹災証明書さえあれば何でも処分してもらえると思うだろう。業者に頼むとかなり多額な処分料を要求されたとも聞く。焼け残った火災ごみの種類も判断できないし、どうすればよいのか。

環境施設課長 火災ごみ、一般ごみを問わず、同ルールでお願いしておりますが、火災ごみについては、より丁寧な対応を心がけてまいります。

呉高専の神田先生や広島大学の塚井先生、そしてバイタルリードの森山社長など、いわば日本の最先端を走る交通工学の先方方にお願ひし、場合によっては、学生や大学院生にも参加いただきながら、地域の要望を徹底的に聞いていきたいと考えております。



中通りを走る次世代モビリティ「SORA」

大学生のインターンシップを
受け入れました

誠志会では、3年ぶり2度目となりますが、ドット・ジェイピーが行っている大学生の派遣事業（議員インターンシッププログラム）を2月から約2ヶ月間受け入れました。

本プログラムは若年層の政治離れを防ぎ、大学生に政治に感心をもってもらい、投票にいかねばならないという意識の醸成になると考えています。

特に「政治に無感心であっても、無関係ではいられない」という言葉を説き、議員が何をしているのかを理解してもらおうと同時に、私たちも、今の若者が何を考えているのかを知る有意義な時間となりました。



広島・修道・安田女子大学からのインターン生

令和元年
12月議会
代表質問から



橋口晶議員

柳迫第1ポンプ所の
本復旧の状況について

橋口議員 川尻地区の柳迫第1ポンプ所について、肝心の本復旧は、いつ頃完成するのか、ポンプ所の防災対策を踏まえお伺いします。

建設部長 本復旧するポンプ所は、被災した旧ポンプ所から約200m下った土砂災害等の危険性が比較的少ない市道沿いの場所に建設します。造成工事を12月中旬から着手する予定で、順次、建築工事、機械設備工事などを行い、令和3年3月の完成を目指しています。昨年の被災状況を踏まえ、土砂の流入による施設の損傷や機能停止を防ぐため、防護壁設置などの防災対策を講じていきます。

【断水範囲の縮小対策について】
橋口議員 昨年の豪雨災害での広範囲な断水を受け、川尻地区では、海岸沿いの配水管を増強して給水範囲を広げることを聞きました。川尻地区以外でも非常時の給水対策として、断水範囲を縮小させるなどの対策は検討しているのかお伺いします。

建設部長 川尻地区以外の対策について、広石内地区では、郷原方面と宮原浄水場から送られる区域があることから、連絡管を整備し、できるだけ断水範囲を縮小するよう考えています。また、安芸灘地域では、断水時に竹原方面からの送水ルートに切り替えて給水していました。水圧不足のため下蒲刈地区まで水が届かなかったことから、施設管理者である広島県に対し、地区内で給水箇所が設けられるよう施設の改善を要望しています。

さらには、昨年の教訓を踏まえ、断水時に

断水していない水系の境界付近の市民センターや公園など、住民が利用しやすい場所への24時間利用可能な応急給水栓の整備など、計画的に応急給水の充実を図っていきます。



災害後仮設された柳迫第1ポンプ所

令和元年
12月議会
個人質問から



岡崎源太郎議員

商店街活性化について

岡崎議員 民間主導型の再開発により、商業の活性化やエリア価値向上に伴う税収増に成功した高松丸亀商店街の取り組みをどのように捉えているのかお伺いします。

産業部長 事業の実施にあたっては、土地所有者全員の合意が必要であること、誰が主導的に担うかなどの課題があり、本市の商店街で同様の手法を取することは、現状では非常に厳しいと考えております。

岡崎議員 高松丸亀商店街活性化の中心コンセプトは商店街の人口を増やすことです。1階が店舗、2階が集会所、3階以上が少人

数家庭向け市営住宅の建設をして、再配置住宅の見本とすべきと思いますが、中通地区に市営住宅の建設は可能かお聞きします。

都市部長 中通地区の用途地域は商業地域となっており、建築基準法等に適合する計画であれば、店舗、集会所及び市営住宅は、いずれも建築可能な用途であり、公営住宅法上の問題はありませぬ。

岡崎議員 市営住宅が難しいようであれば、国の補助金と税制優遇があるサービス付き高齢者向け住宅で同様の建物ができないかお聞きします。

都市部長 呉市には、13棟421戸が整備され、中通地区にも既に2棟61戸が整備されておりあります。

岡崎議員 高松丸亀市はシャッター通りが商店街活性化に成功したまちですが、呉市商店街活性化策の現状をお聞きします。

産業部長 呉市では、空き店舗の有効活用のため、魅力ある事業案を公募する「来てくれ店舗公募事業」を平成17年度から実施しています。しかし、取り組みにより新規出店がある反面、老舗店舗の廃業などにより、依然として商店街の空き店舗率は高い現状にあり、対策として建物単体で取り組むことの限界を感じています。そこで今年度からリノベーションまちづくり事業を行ってまいります。



商店街に建設されたマンション(高松市)

視察報告

令和元年5月29日～31日及び7月30日～8月1日の2度にわたり、今年度から呉市でも取り組みを始めた、空き家・空き店舗を活用した地域再生事業「リノベーションスクール」の先進地である、岩手県花巻市、愛知県岡崎市、静岡県沼津市及び熱海市を視察してきました。

事業者が空き店舗に出店した際に、1店舗が成功すると続けて、3店舗そして10店舗が出店し、そのエリアが活気づくという好循環が生まれるそうです。

1つの物件だけに注目して考えるのではなく、エリア全体を俯瞰して考えることが商店街再生には大切なポイントであることがわかりました。



リノベーションされた百貨店の1階(花巻市)



リノベーションされた熱海銀座の商店街

皆様のご意見
お待ちしております。

誠志会は常に市民サイドに立ち、市民生活の向上を目指し、皆様方の代弁者として活動して参ります。どんなことでも御相談ください。

TEL 25-3264 FAX 25-3650
(呉市議会事務局内)
E-mail:kureseishikai@gmail.com